

日本共産党

こんにちはは市会議員
南畑さち代です

No.91
2020.07.15
連絡先
453-7758

7月10日(金)、市長は定例記者会見の場で、平井メガソーラー計画について不許可の判断をしたと発表しました。

平井メガソーラー不許可 尾花市長

平井の計画については、楠見連合自治会や、楠見地区のメガソーラー(巨大太陽光発電)を考える会が反対の署名に取り組み、和歌山市の審議会が「生活環境、景観、その他の自然環境との調和がとれているとはいえない」と答申していました。その後の市の判断が待たれていました。やっとその判断が出されたという事で、計画を不安視する多くの住民にとって朗報です。

なんとしてでも紀ノ川駅にエレベーターを!

紀ノ川駅へのエレベーターを含むバリアフリー化は南海電鉄も実施の方向でしたが、市は、2月議会の当初予算に計上しませんでした。これまで市は「事業者が実施するとなればついて行かざるを得ない」と言ってきました。また、市は「紀ノ川駅を地域の拠点区域」と位置づけ「生活サービスの維持・強化を図る」と立地適正化計画に明記しています。予算を見送ったことは納得出来ない住民の声が噴出していることから、6月議会で一般質問を行いました。



日本共産党和歌山市議員

南畑 さち代

市会議員団の日々の活動をお伝えしています。パソコン・スマホで「日本共産党和歌山市議員団」と検索して、ご覧ください。



南畑 住民要求の認識はどうか。事業者と県は予算化に向けて進んでいたと聞いているがなぜ予算化しなかったのか。

局長 地域住民から本市への要望や事業者への署名の提出など強い思いは認識している。先ずは、乗降客数3000人以上の駅のバリアフリー化に取り組んでいる。紀ノ川駅は3000人未満だが、南海本線と加太線の乗換駅であり、駅前整備等の一体的な利便性向上策を検討している。

*南海電鉄は、国土交通省の観光振興事業補助金の活用を見込んでいました。これは、特定の要件を満たす必要はありませんが、一日の乗降客数が3000人未満でも補助対象となります。駅前のアクセス道路は狭く、駅前の傾いた電柱には高压線以外に、NTT、

Jコムなど何本もの線がついており、駅周辺には活用できる用地の確保が難しいなど、駅前整備は簡単に解決できるとは思えません。時間をかけている間に補助金が改正されたりすれば実現が遠のきます。南海電鉄は、今年度も予算化の方向です。そこで市長に質問しました。

南畑 事業者が予算の意向がある中で、今後どう取り組んでいくのか。

和泉山脈の環境保全を

和泉山脈は和歌山市にとって景観の骨格をなす、自然豊かな山だとしながら、広大な範囲でソーラーパネルが連なることにストップをかける明確な方法がありません。

環境省は、今年2020年4月から太陽光発電事業を環境評価法の対象とし、更に、環境評価条例の対象外の小規模事業も環境に配慮し、地域との共生を図る事が重要である場合があるとし、「太陽光発電の環境配慮ガイドライン」を策定しました。山の尾根線上や丘陵地、高台に設置する場合や周辺に史跡や名勝地等、歴史的・文化的景観または良好な自然環境がある場合を配慮検討項目としています。

でいくのか。
市長 地域の重要な拠点となる駅であり、バリアフリー化など駅利用者の利便性向上に取り組んでいきたい。

この市長の答弁は、私たちの要望を先送りする答弁です。こんな絶好の機会を逃してしまつたことは残念でなりません。引き続き一日も早く実現できるよう力をあわせ頑張ります。

和泉山脈には葛城修験道があり、歴史的にも価値があるとして多くの方が取り組んでいることから質問しました。

南畑 環境省の「太陽光発電の環境配慮ガイドライン」の内容を今後市に取り入れる考えはあるのか。また、和泉山脈にある葛城修験道に対する自然景観資源としての認識はどうか。より配慮が必要となっていると思うがどうか。

局長 環境省の「太陽光発電の環境配慮ガイドライン」については、市の実情を踏まえ、市の「太陽光発電設備等の設置に関する景観ガイドライン」への反映を検討していく。

・・・裏面に続く・・・

・葛城修験道は、令和元年文化庁の「歴史の道百選」に選定された。これは、この道が歴史的価値を有する証でもある。現在、昨年に続き日本遺産の認定を目指している。今後も魅力的な歴史文化遺産を生かすべく取り組んで行く。

・太陽光発電設備等の設置については、歴史的景観資源への近接を避けるなど、適切に対応していく。

*国の環境配慮ガイドライン

給食室の熱中症!深刻

夏休みを短縮するなら給食の提供を

党市議団の森下佐知子議員は6月18日、教育行政について質問しました。

給食調理員が夏に熱中症と思われる状態で救急搬送されることが何度も起っています。調理環境が30℃を超え、湿度も90%以上となり、厚労省マニュアルを満たしていない中、エアコンの設置がない危険な状況を示し、「一刻もこのままにはできない」と質問しました。

また、夏休みを短縮して授業を行うなら、県内の他市の殆どが給食を実施しているよ

が出来ても従来の域を出ない答弁で、残念です。このままでは地元とは直接関係の無い企業や投資家が利益を得て景観や自然破壊のマイナス面は地元を押しつけられることとなります。

この問題は、引き続き取り組んで行きたいと思えます。この質問の2日後に葛城二十八宿の修験の道が日本遺産に認定されました。」

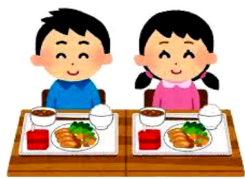


うに和歌山市としても給食を実施すべき、中核市の予算に占める教育費の割合が2017

日本共産党を含む全7会派の共同提案による議員発議3件、全会一致で可決

議員発議3件の内容

①発議1号
新型コロナウイルスにより、議員の市外派遣などの事業中止に伴い、今年10月1日から来年3月31日までの公務活動費について減額することを可決しました。



年までの十年間の平均が10.5%なのに対し、和歌山市は今年度6.1%しかない中、築40年以上の学校施設が60%もあること、コロナウイルスの感染症対策としても教職員の増員は待ったなしの課題だと指摘しました。

尾花市長は、「調理室のエアコン設置は必要性を感じている。改善を図る。教育は市政の基盤と位置づけ必要な予算の確保に努める」と答えました。

「7月13日開会の臨時議会でも、給食室等へのスポットクーラー設置の予算が提案されました。」

②発議2号

「新型コロナウイルス感染症対策に関する意見書」

③発議3号

「加齢性難聴者の補聴器購入に対する公的補助制度の創設を求める意見書」

発議2号・3号とも、和歌山市議会として、国に対して意見書を全会一致で提出しました。和歌山県医療労働組合連合会と年金者組合の要望活動がみのりました。

厚生委員会での指摘と意見

「戸籍住民基本台帳費」はマイナンバーカードを普及するための予算で、多くの方が

納得していない中、普及ありきのやり方は新たな矛盾を広げるだけだと指摘しました。

国民健康保険料、介護保険料、後期高齢者医療保険料の減免について、認定要件である収入の3割減を「見込み」で申請した場合、結果として減収にならなかったとしても不正がない限り返金を求めないとの答弁がありました。

「保育現場の現状把握と解決のための手立て」「新型コロナ対応でのペット預かりについての周知方法」などの意見を述べました。

無料生活法律相談

日時：8月7日(金) 午後6時～7時
会場：河西診療所組合員ホール
(変更の場合あり)
申込：南畑さち代まで

無料生活相談

日時：毎週木曜日、午前10時～12時
(電話での相談は常時行っています)
会場：南畑さち代生活相談所
Tel. 073-453-3418、453-7758 (自宅)
和歌山市善明寺411-4

相談実施中は看板を出しています

お問い合わせは、南畑さち代まで
Tel. 073-435-1113 (日本共産党市議団室直通)
2020年5月と6月の法律・生活相談件数
生活保護：4件 下水：1件 道路：2件
水道：1件 メガソーラー：1件 土地：1件
10万円給付：1件 小口資金貸し付け金：1件
貸し付け金：1件 コロナ対策：1件